

第159回診療報酬基本問題小委員会（平成24年7月18日）での議論 （入院基本料について）

○白川委員

双方、入院基本料については、少し考え方が違うところはあるが、今の看護配置をベースとする診療報酬の点数付けについては、少し改善すべきではないかというところでは一致していると、病院経営の観点でどうかと、それから、病床の機能としてどうかということで議論を進めたいかがか。

○西澤委員

共通しているのは、入院基本料というと、看護配置だけでなっているのはおかしいという辺りも完全に一致しているので、まず、そういうところから入っていい。看護配置だけではおかしいというのであれば、入院基本料はほかに何が入っているかというのをもう少し明らかにするとか、そういう議論が、これからできるものとする。

○嘉山委員

入院基本料も、患者中心で、医療必要度というのを基本にいろんなことを考えた方がいいのではないかと。

○西村委員

患者中心として価格づけを行うということは賛成で、価格づけを行うときコストや収支とか経営という面が中心に出される傾向があるが、やはり医療の質の視点も、その価格づけの中に取り入れていけたらと考える。

基本的な入院サービスの部門において、典型的な医療の質の問題とは何かということを把握しながら、質の担保が図れるような形で価格づけを考えていくということも加えていただきたい。

○印南委員

外形的な基準だけではなくて、中間のプロセス指標なり、そういうもの、クオリティ・インジケータをどんどん開発して、できるものから順次入れていくということが、必要な担保にもつながるのではないかと。